



Since 1997

# The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 15 | Issue 2 | December 2011

## ➡ In this issue...

- ▶ KISTival 2011...p. 2
- ▶ Grade 8マウンテンキャンプ...p. 7
- ▶ Grade 5キャンプ - 長野へ...p. 8
- ▶ スクールカウンセラーの役割の理解...p. 9
- ▶ Drop Everything And Read...p. 10
- ▶ Personal Projectとは...p. 11
- ▶ バレーボールの勝利...p. 12
- ▶ セカンダリーSRC...p. 12
- ▶ 保健日より...p. 14
- ▶ Grade 6日光旅行...p. 15
- ▶ クロスカントリーニュース...p. 16
- ▶ カレッジガイドニュース...p. 17

「新しいことを学ぶと同時に、  
これまで学んだことを日々見  
直すことも大切である」

—Robert Brault

## From the School Director

最初に、10月に行われたキスティバルに置きまして、KISTコミュニティーの皆様の大なるご協力、心より感謝申し上げます。開始時に大雨となってしまったにも関わらず、多くのゲストを迎え大成功を収めることが出来ました。皆様のご尽力により集められた収益は、図書購入に約164万円、ECEプレイグランド改修に約164万円、災害防災備蓄品や設備に約191万円、東日本大震災への寄付に約27万円を使用させて頂きます。詳しくは、キスティバル報告書をご覧ください。

さて、私たちが「様々な背景を持つ子供たちに高度な国際教育を受けることの出来るチャンスを提供し、学習に真面目に取り組む子供たちが、将来有能で有益な社会人として世界で活躍できるよう育成する」ことを目的にKISTを設立し、早いもので14年の月日が経ちました。しかしながら規模の急激な拡大等様々な理由から、ここ4-5年の間、多少の迷走がありました。今年度マネージメントチームが連携し改革を進め、確実に開校の目的に向かい再び大きく舵を切っています。改革の内容に付きましては、別途詳しく報告させて頂きませんが、多くのコミュニティーの皆様からも、様々な改革に対し高い評価を頂き、うれしく思っています。

今後も学校の指揮者として教育改革を進めていきますので、成功に導くようコミュニティーの皆様のサポートを引き続きお願い申し上げます。

**Yoshishige Komaki**

School Director/Acting Head of School

## 2012-2013年度の出願

KISTにご兄弟を入学させたいと考えていらっしゃる方に確認となりますが、2012年の4月または8月入学の出願締切は**2012年1月6日(金)**です。入学を考えていらっしゃるお知り合いの方にも、ぜひお知らせください。

### DATES TO REMEMBER



#### December

- 9 (W) Clubs program ends
- 10 MUN Conference (@KIST)
- 13 Short Tuesday
- 14 Winter Concert
- 17-Jan 8 Winter Vacation
- 19-20 Office open

#### January

- 5-6 Office open
- 6 2012-2013 enrollment applications close
- 9 (W) School resumes
- 16 (W) Clubs program resumes
- 17 Short Tuesday
- 25 Japanese New Year celebration
- 27-Feb 3 (G11/G12) DP mock examinations
- 30-Feb 1 (G9/G10) Semester 1 examinations
- 30-Feb 3 2012-2013 enrollment interviews
- 31 Short Tuesday

#### February

- 3 (K1-K3) School holiday
- 6 Staff Development Day (No school for students)
- 7 Semester 2 commences
- 8 (G6-G10) Brain Bowl (@KIST)
- 10 (W) Free dress day
- 10 Semester 1 reports issued
- 10 (S) SRC dance
- 17 School holiday
- 22 Artscape (until March 12)
- 22 (G5) PYP Exhibition Explanation Evening

# KISTival 2011

2011年のKISTivalに関わって頂いたコミュニティの皆様、本当にありがとうございました。雨天でのスタートでしたが、無事お天気にも恵まれることができました。今年は3000人以上の方にお越しいただき、利益は540万円を超えることができました。詳細は下記をご参照下さい。来年は、世界中のゲームやアクティビティ等、より国際的なテーマにしたいと思っておりますので、冬休みに母国へお帰りの際は、お持ちの民族衣装をお持ちになるのも良いと思います。文化祭を改善するアイデアやご提案がありましたら、[info@kist.ed.jp](mailto:info@kist.ed.jp)までお気軽にご連絡下さい。

## KISTival 2011

総収入: ¥7,335,103  
 総経費: ¥1,866,633  
 収益: ¥5,468,470

### 収益配分

Library resources	30%	¥1,640,541
ECE playground	30%	¥1,640,541
Emergency and disaster equipment	35%	¥1,913,964
East Japan Earthquake and Tsunami Support	5%	¥273,424

- ・ 総収入にはチケット売上・入場料・寄付金・協賛広告代が含まれます。
- ・ 総経費にはフード・ゲームブース経費・チケット・広告印刷代・テント他レンタル代・ゴミ処理代・ラッフル景品購入代・ステージ経費が含まれます。
- ・ そのほかラッフルやゲーム景品・バザー用品として物品を寄付して下さい多くの保護者の方や企業の皆様に感謝いたします。

各ブース売上詳細			売上
Parent booths	K2	Games	¥50,000
	K3	Beer/Wine/Soft drinks	¥413,009
	G1	Japanese (Chanko), Hotdogs	¥401,185
	G2	Face painting, Henna painting, Nail art	¥198,625
	G3	Mexican food	¥318,125
	G4/5	Bazaar	¥774,975
	G7	Indian food	¥114,750
	G8	Korean food	¥230,939
	G9	Thai food	¥179,941
	G10	Hawaiian food	¥301,805
	Stefano	Italian food	¥108,375
Parent/student booth	G6	Air slider, Games, Prize booth	¥622,433
Student booths	G7A	Game: Wet sponge toss	¥28,625
	G7B	Game: Find a criminal	¥4,500
	G8A/G8B	Game: You think you can LIBRO	¥15,000
		Game: Sniper	¥9,250
	G9A	Game: Where's Molly	¥8,625
G9B	Game: Bean bag throwing	¥25,375	
Staff booths	Staff	Hamburgers, Crepes, Ice-cream, Popcorn, Beer, Cloakroom	¥393,235

寄付金・お祝い金	¥255,000
Cafe Tomato より寄付	¥34,695

- ・ Habitat for Humanity の売上は、全額 Habitat for Humanity の収入になります。

Habitat for Humanity	G11 Parents	Cakes and Drinks	¥152,575
	G11	Foods, T-shirts sales	¥68,500
	G10	Haunted House	¥81,250





# エレメンタリースクールニュース

## ABCニュース インタビュー

Grade 2の生徒2名、Grade 3の生徒5名がABCニュースのインタビューを受けました。「ダイアン ソーヤーによる世界のニュース」にて、人口が70億人を突破しましたことを伝える内容とともに世界の子供達へのインタビューとしてその一部が紹介されました。全米で10月31日(月)に放送されました内容はMoodleにてMr Brunton's Corner、ABC Newsのリンクよりごらんいただけます。イベントをアレンジしてくれたMrs.Nomuraに感謝します！



## ペットボトルキャップのリサイクル活動

ペットボトルのキャップ回収に引き続きご協力いただきましてありがとうございます。G5AクラスJohnathanによるこのプロジェクトはますます活発な活動となっています。

集まりましたキャップはJohnathanとご家族により、40キロごとリサイクル業者に依頼され、処理されています。これまでに50,000を越えるキャップを回収し、62人分のポリオワクチンとして提供されました。活動へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。



## K1-G5ストーリーキャラクターパレード

11月30日に初めてのストーリーキャラクターパレードを行い、K1-G5皆そろって参加しました。様々な物語の登場人物に扮した子ども達が校庭をパレードし、それぞれの様子を楽しみました。このイベントは、11月の各月曜日、20分間の朝の読書時間を設けましたDEAR 活動の締めくくりとして行われました。DEAR月間は終わりましたが、引き続き皆様に読書活動を楽しんでいただきたく思っています。当



日の様子はエレメンタリースクールMoodleサイト、Mr Brunton's Cornerでもご確認いただけます。

## K1-K3クロスカントリー

イベントをもうひとつご紹介します。同じく11月30日、午後には木場公園にてK1-K3クラスを対象としたクロスカントリーを行いました。



安全の確保、イベントの開催にご協力いただきましたparent volunteerの皆様、ありがとうございました。イベントは体育担当のAki先生、Mr Jayを中心に準備、計画されました。いきいきとした表情、楽しんだ様子などMr Brunton's Cornerに掲載させていただきました写真からも当日の子ども達の姿を感じていただけるのではないかと思います。



Mr Brunton

**Greg Brunton**  
Elementary School Principal

## PYPニュース

### エレメンタリーSRC

ESRC (Elementary Student Representative Council) が今年度の活動をスタートしました。Grade 5の生徒によるExecutive Committeeと、K3-Grade 4各クラス代表によるメンバーで構成されています。エレメンタリースクール皆の意見をとりいれ、問題の提議、解決を図り、様々な決定をしていくうえで中心的な役割を果たします。11月にはFree Dress Dayを行いました。話し合いの結果、集まりました資金は、エレメンタリー図書室と被災された東北の方々へ送られるこ



ととなりました。ポスター作り、クラスへの告知と準備の段階からフリードレスデーの告知や募金の回収までESRCメンバーで行いました。よりよい環境づくりために積極的に取り組んでいます。年間を通しての活動に期待しています。

### インフォメーションセッション、コーヒーモーニング

インフォメーションセッションやコーヒーモーニングにはたくさんの方にお越しいただきましてありがとうございます。インフォメーションセッション第1回は新入生のご家庭を対象にPYPプログラムを紹介し、カリキュラム内容やIBプログラムにおいて求められる学習者像などといった様々な要素について説明させていただきました。2回目はカリキュラム展開や探究の方法についてお話しし、当校での活動から探究を通しての学習への理解を深めていただきました。Grade 5「私たちがいる場所と時間」のユニットを例に、探究のサイクルが実際どのように展開されているかを紹介しました。PYPプログラム、エレメンタリースクールの学習内容につきましてはコーヒーモーニングでもご案内させていただいています。エレメンタリースクール校長、PYPコーディネーター、保護者の方々とコーヒーを囲み、様々なトピックについて話し合う機会となっています。これまでは年間計画や評価についてお話しさせていただきました。次回は1月12日(木)を予定しています。8:30より9:30までMPRで行いますので皆様どうぞお越しください。



### 共同研究

今年度は隔週火曜日が短縮授業日となっており、放課後のまとまった時間をスタッフの授業研究にあてています。各学年担任やアート、日本語、音楽、体育など特別教科の教員が共同で年間計画の作成やカリキュラム、ユニットの計画を行っています。また教員有志により当校におけるリテラシーについて考える研究グループもスタートしました。カリキュラム、プログラムの開発、子ども達にとってよりよい教育環境はこのような研究時間によって支えられています。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



Elizabeth Heard  
PYP Coordinator

#### 2011-2012年度ESRC Executive Committee

##### 委員長

Kevin (G5B)  
Julian (G5A)

##### 副委員長

Keri (G5A)

##### 書記

Natasha (G5B)

##### 会計

Varsha (G5B)



The ESRC Executive with Ms Heard.

#### ESRC各クラス代表

K3A: Haruki  
K3B: Koki  
G1A: Deniz  
G1B: Mimi  
G2A: Kishore  
G2B: Norifumi  
G3A: Saki  
G3B: Kai  
G4A: Nimit and Heizo  
G4B: Kai



## セカンダリースクールニュース...

### 学習環境をより良くする新システムの導入

もう12月ですね！この4か月の間にわくわくするような事がたくさんあって今年度もあっという間に進んでいます。冬休みも近づいてきました。学習環境を整えるために今年度導入したものを、さらに2012年に導入予定のものについてご説明したいと思います。

#### ブロックスケジュール

8月にブロックスケジュールが始まりました。生徒は“short Tuesday”を楽しんでいるように見受けられますが、なぜこのスケジュールになったのかと考える事が大事だと思います。一日に受ける授業の数を減らし、一コマの時間を長くしてアクティビティーや授業内容を豊かにするためにこのような形になりました。これにより、同じ日に提出期限の宿題が減り、集中できるようになりました。先生の立場から見ても各生徒が集中できているように見え、生徒と先生は素早く適応しました。

“Short Tuesday”が始まった事により、先生達の間で一緒にレッスンプランを考える時間などが増え、IBの学校としての目的もサポートされています。

#### Live@edu

新しいEメールシステムも導入され、コミュニケーションを取りやすくなりました。Live@eduを使い始める事によって生徒が、Moodle、LMC (Learning Media Center)、ブックカタログ、リサーチ用に学校が提供するオンライン

データベース、Eメールなどの学校のシステムに簡単にアクセスできる環境を整える事ができました。KISTでは初となる、Live@eduを紹介するために、保護者向けIT説明会を開きました。この英語、日本語の両方で行われた説明会の目的は生徒が学習の一部として使うシステム(Eメール、Moodle)に保護者の皆様に慣れて頂く事でした。このことについてご質問等がおありの場合はIT部門にお気軽にお問合せ下さい。

Live@eduの説明会はこのようなフォーラムに参加する事への関心を測る役割も果たした事で、今年度の終わりにPowerSchoolの説明会を企画しています。あまりPowerSchoolになじみのない方の為に説明しますとPowerSchoolとは、生徒の情報や採点簿(Grade Book)をオンラインで管理できるシステムです。生徒のクラススケジュール、出席、成績表などが全て同じところで安全に管理できるオンラインベースのアプリケーションです。今年度の初めに先生達はこれを使って出席をクラスごとに取り始めました。そして今、採点簿(Grade Book)の機能を紹介しており、今年度はこれからこれを使って行く事となります。こうする事により、2012-2013年度に保護者に紹介する前に先生とIT部門で妨げになる可能性のあるものを取り除く事ができます。将来的にウェブ経由でPowerSchoolにアクセスする事で生徒の学習状況が分かるようになり、プライバシーを保ちながらコメントや学習状況が課題終了後に



Mr Rothkopf

アップデートされるようになります。この目的は生徒に、より明確にどのように進歩しているかを中間、期末の成績表が出る前に伝えることにあり、そうすることにより、生徒が学習するにあたって正しい判断をできるようにすることにあります。学校側の利点は、複数のシステムを一か所にまとめる事ができるということにあります。

去年Moodleを導入しました。Moodleはコースを管理するのにとても良いシステムだという事を証明してくれました。保護者の方には、各クラスで何が起きているのかを知る為に、生徒と一緒にMoodleにログインする事を強く勧めたいと思います。Moodleは学習サポートのためにあり、PowerSchoolは生徒の成績についての情報を提供していきます。

学校関連の事には生徒に学校が提供するEメールを使う事を進めて下さい。Live@eduのアカウントには、学校全体に送られる情報と、定期的なアップデートがSecondaryブログ経由で送られます。

全てのご家族が楽しく健康なホリデーシーズンを過ごせる事を願っています。そして、残りの2011-2012年度を楽しみにしております。

**Stephen Rothkopf**  
Secondary School Principal



## DPニュース

### Grade 11: Extended Essay(課題論文)の準備

11月に入り、11年生の生徒達はDPプログラムの一環として課題論文の準備を始めました。課題論文(EE)とは、各自の研究で自分の興味のあるトピックについて詳しく調べる機会を与える課題です。EEは生徒の研究能力と時間の使い方、そして彼らの知的好奇心を伸ばすという事もあり、IB Diplomaでは必修となっております。最終的には生徒が3000~4000字の論文を、選んだトピックのResearch Question(研究課題)をもとに書きます。

今年度のDPスケジュールに組み込まれた例年以上のアドバイザークラスを利用し、生徒はEEを始めるにあたって必要な最初のユニットをもう終わらせる事ができました。EEコーディネーターのMr CoweがEEとは何か、そしてトピック選びについて2回授業を行いました。その後新しいTeacher-LibrarianのMr Andiがどのようにしてトピックに関わる情報を見つけるかについて2回の授業を行いました。そして各生徒の担当の先生が決まりました。

ここからはもう生徒次第です。ここ数週間の間を選んでトピックに関して調べ、担当の先生とMr Andiに最低でも1回ずつ会わなければなりません。生徒が自立してやらなくてはならないので、何人かの生徒にとってEEはIB Diplomaの中でも大変な科目です。従って、保護者がお子様をMoodleでEEについて知り、サポートする事ができるようになっています。MoodleにあるDP Extended Essay Pageには保護者の方がサポートするのに必要な全てのリソースがあります。詳しく言いますと、良くできたEEのサンプルや、EEのタイムラインなどがあります。2つの大事な目標は、研究課題を1月の上旬までに考え決めることと、3月にあるクラスでの発表の準備です。

とても興味深いトピックが選ばれており、11年生達がどんな事を学ぶのが楽しみです。

### Grade 11 TOK: どうして分かるの?!

金曜日の午後になってくると一週間の終わりが近づき少し勢いがなくなりがちですが、11年生にとっては4限目が彼らのカリキュラムの基となるTOKの授業なので徐々に勢いが増していきます。Theory of KnowledgeとはDPの必須科目であり、“どうして分かるの?”という質問が軸になっています。彼らの6科目の勉強中に生徒はその教科の本質を勉強し、どのように知識が形成されるかについて学ぶことができますが、TOKのクラスで考えがまとまります。

今の所、今年度の生徒達は自分たちの事を“Knowers”(理解する人)として見て、知識とは何かを考えており、最近では言語がどのように自分の知識を形成するかについて探求しています。Grade 11のMoodleページには、TOKに関するリソース、先生が使う情報と、生徒(そして保護者)の知識をさらに伸ばす資料があります。保護者の方でTOKについて詳しく調べたい方はMoodleか、学校のホームページのDP Course Descriptionをご覧ください。もしくはお子様に

どのような事をTOKの授業で行っているか、TOK日誌に書かれているかを尋ねてみてください。TOK日誌とは、DPの生徒たちがTOKの授業で生じた知識の問題について感想や意見を書き、積み重ねていくものです。最終的には、これが例題や考えに繋がり、TOKのエッセイや発表などで生きてくるものとなります。考えれば考えるだけ良いという事ですね。

### Grade 12: 期末模擬試験

12年生達はDPの2年目を引き続き勉強しています。ほとんどの課題が最終的なIB Diplomaに向かうため、今年が今までで一番大変な年となります。高い要求のあるDPで勉強しているため、多くの生徒は冬休みの間も多少の勉強はしなくてはならないでしょう。保護者の方は、何か特別な予定を立てていた場合、この点に注意して下さい。

一月の終わりに、9年生から12年生の生徒は期末試験を受けます。12年生は、5月に行われるIB Diplomaの最終試験の模擬テストを受けることとなり、多くの場合、各教科の先生は実際のテストに近いテストを用意します。12年生にとって模擬試験の週(1月27日~2月3日)が、年度の中で一番大変な時期だと言っても過言ではないでしょう。最終試験ではないですが、生徒は1日1教科のテストを受け、実際の物より大変に感じるでしょう。そして5月にある実際の試験よりも準備期間が少ないというもあります。

従って、冬休み前にタイムテーブルを生徒に渡しますが、1月の終わりにお子様からプレッシャーがかかっていると聞かされた場合、本当にその通りだと思います。

Mark Cowe  
DP Coordinator

### Grade 11: CASアドバイザークラス

CASのアドバイザークラスは1か月に2回60分で、CASの構造と考えや、生徒がどのように参加するかについて考えるクラスになります。この貴重な時間を使って、生徒はスケジュールを立てたり、相談したり、アクティビティーを計画したりして、このプログラムに参加することの有益性の理解を深めます。既にいくつものアクティビティーがこのクラスの中で行われました。例えば、生徒が一緒になってIBが要求する考えとCASのアクティビティーを合わせていたり、意見、感想(Reflection)の大切さを考え、CASの記録を残すための文章の書き方を勉強したりしました。

また、生徒達は図面や文章を通して学習成果を特定するマップを作り、色々なアクティビティーの適正度について会話を交わしました。最近では、他の生徒が行っているCASアクティビティーを参考にし、11月20日にTISで行われたTEDXYouthに参加した生徒の話の話を聞きました。これは、生徒が行ったアクティビティーと、どのように他の人の為になったか、どのように生徒自身のためになったかという発表にもなりました。



Continued from previous page

今年からCASのためにクラスの時間が設けられた事で、生徒がCASを始めるにあたって必要なものを知る事ができ、すぐく生徒の為になっています。また、今年から変わった点といえば、クラスで行うアクティビティーで生徒の手伝いをしてくれるCASアドバイザーとなる先生達です。生徒達が行ったアクティビティーの証拠として、オンラインで記録する日誌があり、IBの生徒として必要な自己認識の勉強、理解に繋がっています。保護者の方もManagebacというサイトからお子様の行っている活動を見ることや、直接話を聞く事でCAS活動のサポートができます。

**Daryl Bates**  
CAS Coordinator

## 2012-2013年度カレンダー

ご家族の皆様が海外旅行を計画する際参考にしていただけるよう、2012-2013年度の重要なスケジュールをお知らせします。早い段階でお知らせしておくことにより、学校初日に合わせて日本に戻り、休暇明けにきちんと登校できるようにしていただければと思います。他の日程も全て含まれたカレンダーは今年度の終わりに配布される事となります。

**学校初日** 8月20日  
**秋休み** 10月21日 - 28日  
**冬休み** 12月15日 - 1月6日  
**春休み** 3月23日 - 31日  
**学校最終日** 6月12日

## Grade 8マウンテンキャンプ



8年生達は9月28日～30日に、泊りがけの遠足に行きました。埼玉県の秩父まで電車とバスを使って行き、このキャンプ中に、東京周辺では体験できないアクティビティーに参加する貴重な体験が出来ました。自然の景観を楽しみながら、生徒達はチームを作って遊んだり、ロープの使い方やダッチオーブン(鉄製、直火用鍋)を使っての料理、森の散策、自然の大切さを改めて感じる事のできるゲームし、環境への意識を高めたりもしました。

生徒達は積極的にアクティビティーに参加し、すごく楽しんでいるように見受けられました。今回が初めての旅行でしたが、来年の8年生も行けるように計画しています。この遠足を計画、実行してくれたEnglish Adventureの皆様、ありがとうございます！

**Kevin Murphy, Marina Babaeva, Atsuko Yamashita, Christian Baker**  
Trip Leaders





## Grade 5キャンプ - 長野へ.....

### キャンプだより

October 5, 2011

Grade 5は7:30に学校に集合しました。いよいよキャンプに出発です。家族と離れて過ごすのははじめてのことなので、楽しみと一緒に不安な気持ちになりました。バスの到着まで少し待ちましたが、バスの中ではMs Rabenauが編み物を教えてくれました。

ノーススターキャンプへ到着すると、先生がそれぞれの部屋を発表しました。仲良しの友達みんなと同じ部屋で、信じられないくらいうれしかったです。ずっと起きていて何をしよう、と夜が楽しみにになりました。

October 6, 2011



6:30に起きました。朝から元気でうれしくなりました。7:00ごろMrs Riemerが部屋にきて、ゲームルームにいきました。

グループで宝さがしをしました。隠されているものが何であるかヒントから考えなくてはなりません。Mr Siddallが鉱山のライトを夜、自転車に乗る時に使っているなんて知らなかったです。

あっという間にでかける時間となりました。滝まで歩いていきました。大きく、とてもきれいで写真を撮るたくさん撮りました。

午後もしろいろなことをしました。ペアでひとりずつ目隠しをして歩きました。4人のチームでスキー板をつけて協力して歩きました。私たちが楽しめるようにAki先生がいろいろと計画してくれました。1番楽しかったのは、ロケットです。高くまで飛ぶようにMr Siddallがたくさん水を入れてくれました。



October 7, 2011

楽しいことは夜まで続きました。キャンプファイアでマシュマロを焼いてsmoresを作りました。あつあつのマシュマロでチョコを溶かし、グラハムクラッカーにのせて食べました。

Mrs RiemerとKevinがこわい話をしました。こわいというよりもおもしろかったので、夜も平気でした。



## 意義ある学習の展開.....

ある火曜日の朝、Grade 5クラスの生徒が登校すると、教室が荒らされ、使うことができなくなっていました。「私たちがいる場所と時間」移住・移動をテーマとしたユニットの導入として用意されたものです。行く場所のない経験をし、移動を余儀なくされ、対処の仕方考えることによって学習への興味、関心を高めることが目的でした。

学習は移住の背景、影響、文化・アイデンティティへの影響を理解することを中心に展開されました。導入の段階で、それぞれの生徒が今持っている知識や情報をまとめ、疑問について調査をし、Skypeで難民の方にインタビュー、移住のシミュレーションゲーム、Moodle Forumでの意見交換、津波でご自宅を失くされた被災者方へのインタビューなどを行いました。そこから移住における困難な状況、危険からの回避、新たな挑戦に焦点をあて、podcastにまとめました。

当校での学習はこのように展開されています。皆さんもKISTの生徒になってみたいときっと思われることでしょう。





# スクールカウンセラーの役割の理解

## スクールカウンセラーの活用方法

あなたの学校にスクールカウンセラーはいたでしょうか。もし居たならばおそらく大学進学のため、又は精神面で問題を抱えた時に訪ねたでしょう。今日のスクールカウンセラーは学校にとって不可欠な役割を果たすのですが、昔の固定観念が、より良いカウンセラーの活用方法の理解の妨げになる場合があります。今回は、保護者と生徒がスクールカウンセラーの役割についての理解と、どのように関わる事ができるのかについて説明していきたいと思います。スクールカウンセラーの一番重要な役割とは、生徒の可能性を最大限に引き出す事です。例えば、友達と口論になった後で学校に来て、数学の授業で集中できなかったとします。この状況において、生徒はスクールカウンセラーの所に来て、自由に感情を表現し、話を聞いてもらうことができます。カウンセラーと話をすることで問題と向き合い、また授業に集中する事ができます。これから、インターナショナルスクールにおいてのカウンセラーの主な仕事を説明させて頂きたいと思います。

## 生徒の環境の変化

Mr Fishman は新しい生徒やクラス間の移動、他の学校や国からの転校、更には将来大学に進学したり仕事につくなど予想される転機での、生徒の環境変化への対応を手助けします。インターナショナルスクールという環境に身を置くという事は一定期間だけ日本におり、他の国に転勤になったり、自国に戻ったりする家族がいるという事です。友達との別れや慣れ親しんだ場所を離れるのはとても難しい時があります。新しい友達や場所に思い巡らせるのはいつもわくわくするものですが、今の場所から新しい場所へ移るまでの間というのはとても大事な期間であり、ストレスになる場合もあります。カウンセラーは将来への不安を和らげる手助けをし、分からない事だらけの状態で告げる別れをサポートしたりも出来ます。また、インターナショナルスクールに通うという事は、友達が出来ては別れるという事もあり、他の生徒が離れてしまう事に影響を受ける場合もあります。新し

く友達を作ったり、遠くに行ってしまった友達と連絡を取り続けたりするのは時間と労力を要します。このような別れや、環境の変化は学業の妨げになってしまう事もある為、真剣に向き合わなければなりません。

## 学業

多くの生徒は時間の使い方と整理整頓、そしてストレスの対処の仕方などに苦労します。生徒が効率の良い時間の使い方を覚え、計画を立てて宿題をし、手順を立てて行動すれば、物事を先延ばしにするような事は少なくなるでしょう。ちゃんとした方法を覚えれば、更にストレスになる事が出てきても対処しやすくなります。その方法とは、タイムテーブルの活用、優先順位を付ける、妨げになっている物の認識と排除、どのように先生に質問するかを学ぶ、などが例として挙げられます。SecondaryではProactive Advisoryクラスがあり、内容は:MYP、DPプログラム、職業、いじめの防止、友達との関係、時間の使い方、尊敬、周囲の圧力、自尊心等についてとなっております。

## 健康

成長するという事は簡単な事ばかりではありません。時に難しい問題が出てくる事があります。いじめ、ストレス、睡眠障害、不安などがあり、カウンセラーはこのような問題に対する情報や解決策を提案し、生徒とご家族の助けになります。

## 守秘義務

生徒とのカウンセリングの内容は、カウンセラーと生徒の間だけに留まりません。しかし、お子様や他の生徒の健康に関わる問題である場合や、違法行為などがあった場合は例外となります。カウンセリングの一番の目的である生徒の健康、精神衛生の保護を可能にするため、このような事は報告しなければなりません。カウンセラーは他の専門家(保健医、医者/精神科医、学校理事、先生や保護者)と共に働くため、精神面での悩みをMr Fishmanに相談する事で生徒の全体

的な状況の理解を得る事ができます。



Mr Fishman

## 心の健康

生徒の精神状態は学校での勉強の妨げになる事があります。家庭の変化(離婚、別居など)、虐待(精神的、言葉、暴力)や鬱など例に挙げたのはこれから先に起こりうる可能性のある事の一部でしかありません。勉強面だけでなく、社交性、やる気が無くなってきたり、元気が無くなって来たりした場合、Mr Fishmanに相談する事により早い段階から対処して行く事ができます。グループ、個人、クラスの様子などを見て、カウンセラーは多くの大人や友達には出来ないやり方で生徒の助けになる事ができます。守秘義務、信頼といった共通の認識により、生徒が安心して悩みを共有できる環境を提供しています。普通では抑え込まれ、悪い方向や行動に繋がる可能性のある感情を、生徒達が心を開いて表現する事を可能にしています。カウンセラーは生徒やご家族のために出来る限りを尽くしますが、限界は存在します。これは次のトピックでもありますが、カウンセラーがどのように、更なる助けとなる良い情報源になれるかを説明して行きたいと思います。

## リソース

説明させて頂いた仕事内容と生徒の監視などの役割により、生徒や家族が必要とするまでの注意や配慮を払えない場合もあります。しかしこれはスクールカウンセラーが、全ての家族のために、必要となるたくさんの情報源を持っているので問題ではありません。外部の連絡先を含む情報源の例として、病院、医者、精神科医、Tokyo English Life Line (TELL)、出版物(新聞、本、インターネット、など)、そしてミーティング(先生からフィードバックを聞く事ができたり、保護者の方が一般的なアドバイスを求めに来たり、カウンセラーによって開かれる保護者と先生のミーティング)などがあります。概してカウンセラーという仕事は傘に例えられると思います。

Continued next page

Continued from previous page

カウンセラーは異なった視点(先生、アドミニ、法律、本、インターネット、保護者、他の生徒)からの情報を守秘義務の範囲内で集めて、生徒が正しい情報から責任を持った決断を出来るように手助けします。スクールカウンセラーは生徒だけでなく、保護者の役に立つ事ができます。成長するにつれて子供は親を遠ざけるようになり、自立を求めるようになります。もう一人の大人が生徒達の生活と一緒に居るという事で保護者はお子様の成長を安心して見守る事ができるのではないのでしょうか。従って、ご家庭で問題が無くとも、お子様の精神面での健康や成績などについても、保護者がいつでもスクールカウンセラーに連絡できると感じる事が大切です。いつでも気軽にBenjamin Fishmanをお尋ね下さい。紹介など形式的な事は必要なく、すぐにお話をお伺い致します。Mr FishmanのオフィスはSecondaryの校舎3階にあります。

**Benjamin A. Fishman**  
Student Welfare Counselor (K-12)

## Drop Everything And Read . . .

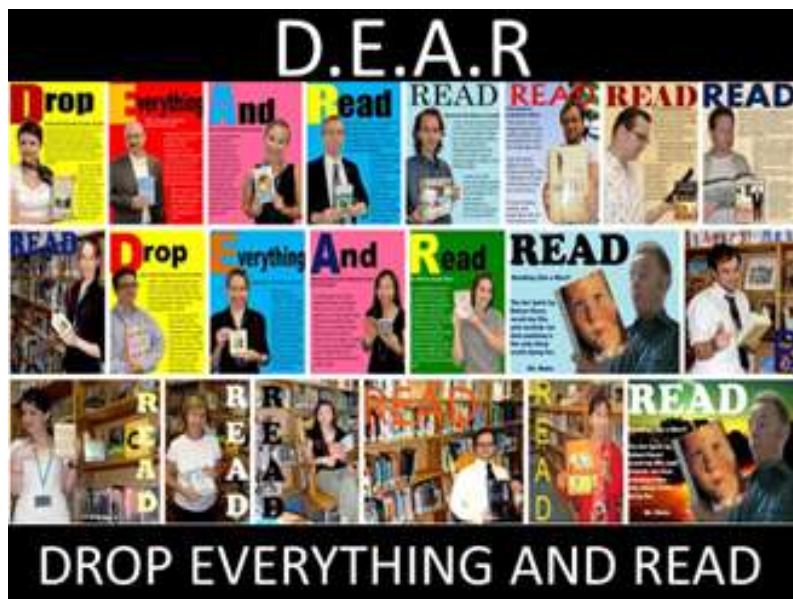
### 11月はDEARプログラムを行いました

KISTでは、11月にDEAR(全てを投げ捨てて読もう!)というプログラムを行いました。このアクティビティは、生徒が楽しく読書をすることを促進し、また生涯学習を発達させることを目的としています。教師とスタッフは、好きな本をポスターで紹介し、そのポスターを学校中にはることでDEARプログラムを促進しました。エレメンタリーとセカンダリーの両方で、11月の毎週月曜日朝8:40から9:00の時間で行われました。



ライブラリーが教師やスタッフ、生徒全員をまきこみ、各々が、クラス、美術室、講堂、コンピューター室、メインオフィスで読書をし、とても成功したアクティビティだったと言えます。全てのホームルーム担当教員、スタッフ、そして生徒の皆様、図書館のアクティビティをサポートして下さい、またご参加頂き、まことにありがとうございました。

**Andi Licuanan**  
Teacher-Librarian





## 卒業生のレポート

Disha Parikh 2010年にKISTを卒業しました。彼女は今、香港大学の2年生で、バイオテクノロジーを勉強しています。

### 香港大学での生活



大学での生活とは、自分で自分の道を決める事だと気が付きました。香港大学に来る前までは、これがどこに続いている道かわかりませんでした。KISTを卒業してから一年以上経つ今となってはここに来て良かったと思います。

なんでHKU (Hong Kong University - 香港大学)なのかとよく聞かれます。もしくはなぜバイオテクノロジー

なのかと。完全に個人的な意見を言わせて頂くと、アイビリーグ(米国の私立名門校)に入るのが大事なのではなく、自分にあった大学を見つけるのが大切だと思います。香港大学は私にとって学習している上で刺激、やりがいを感じる事ができるので、最適な場所だと思います。今年、特別研究員として認められた事で、教授の研究チームに加わり、ウイルス学の研究ができるようになりました。



去年はこの場所に落ち着き、周囲の物事に慣れることに必死でした。寮生活やハイテーブルディナー(ハリーポッターの Hogwarts をすぐに思い起こしました)、東南アジア旅行、ノーベル賞受賞者との忘れられない食事、グローバルラウンジのイベント企画、友達と一晩中海岸で過ごし朝日を見るなど、その前までとは全く違った形の生活を始めてから1年経過しましたが、一言で表すと“Amazing”です。



DPの終わり、KISTを離れる、というのは色々な物が混ざった不思議な感覚でした。“Home”と呼んだ場所を離れ、友達や家族に別れを言うのは悲しいものでしたが、こんなに素晴らしい生活が始めるなんて誰が予想できたでしょう？

**Disha Parikh**  
The University of Hong Kong  
BSc. Biotechnology 2年  
KIST 卒業生、“Class of 2010”

## Personal Projectとは。。。。。

MYPは国際的に認められた11歳から16歳向けに作られたプログラムです。全般的に言えば、多岐に渡る学習内容と、評価基準を使った採点方法を用いたプログラムですが、各生徒にとっては、今世界が抱える問題

“...a creative, challenging and all-inclusive experience for all Grade 10 students.”

を目の前にし、成長を支えてくれる素晴らしいプログラムです。そして、その5年間の集大成として全ての10年生には、パーソナルプロジェクトがあります。

パーソナルプロジェクトは、生徒自身が主導で自分の興味があるトピックを中心に構成しなければなりません。相互作用のエリア(AOI)の一つと結びついていて、プログラムで培ってきた知識、スキルを活かし、生徒の個人的なMYPでの経験が反映されていなければなりません。

パーソナルプロジェクトは、先生監督の下、生徒主導で行われます。生徒は、やる気と共に自立して自分から行動を起こせるという事を証明しなければなりません。そしてそれは、IBの最後のプログラムである、Diploma Programmeに進むための準備になります。

パーソナルプロジェクトが完成した後、学校は生徒が勉強した成果を披露する、パーソナルプロジェクトの展示会を開きます。

私たちは、コミュニティーの皆様と共に、生徒のMYP最後の年の勉強の成果を顕彰できる事を願っています。

**Vedrana Pavletic**  
MYP Coordinator



2月23・24日にMYPパーソナルプロジェクトの展示会がKISTで行われます。詳細は日程が近づいてきたらまた追って連絡します。

## バレーボールの勝利

おめでとう！11月の12日にKISTの体育館で行われた決勝戦で International Secondary Schoolを2-0で破り、KIST18歳以下のバレーボールチームが ISTAAチャンピオンになりました！



素晴らしい成績を残してくれた生徒、そしてコーチのMr LeeとアシスタントコーチのMs Pavleticにお礼を申し上げます。

チームのメンバー：Nina、Akiko、Michiru (G10A)、Moyu、Miku、Erika (G10B)、Shifa (G11A)、Shay、Sara (G11C)

## ソフトボールしませんか？



知らない方も多いかと思いますが、スタッフと保護者の為のソフトボールチームが学校にあります。練習や、他のチームとのトーナメントの参加を通して友好的なスポーツマンシップを促進しており、1か月に2回日曜日にKISTのグラウンド、他の江東区内にある学校の校庭かベースボールグラウンドで集まります。色々な年代の方が参加しており、20代～60代の方まで一緒に楽しんでいます。来年のシーズンに向けてメンバーを募集しているので、もし興味がありましたら、見学だけでも良いので Akihiko Nogamiまで [akihiko.nogami@kist.ed.jp](mailto:akihiko.nogami@kist.ed.jp) にご連絡下さい。



## セカンダリーSRC

2011-2012年度の生徒会はHalloween Danceで38,000円の資金を調達する成功と共にスタートしました。このお金は生徒会の会費となり、イベントなどの運営に使われます。たくさんの意見、前向きなフィードバックやサポートをHalloween Danceではもらいました。ご意見などを参考にし、2月にある次のダンスの企画に活かしていきます。

今年度の学級委員も決まりました。彼らは週に1度の生徒会ミーティングにホームルームを代表して参加します。

今年度企画しているイベントは、スポーツ、フリードレス、ダンス、募金活動などで、素晴らしい一年を楽しみにしています！

### セカンダリーSRC 各ホームルーム代表

Grade 6A: Nikita  
Grade 6B: Hee Yong  
Grade 7A: Yasmine and Radhika  
Grade 7B: Nina  
Grade 8A: Mihir  
Grade 8B: Azzam  
Grade 9A: Kouta  
Grade 10A: Min  
Grade 10B: Bilal  
Grade 11A: Ria  
Grade 11B: Miri  
Grade 11C: Yeon Soo  
Grade 12: Paolo

Secondary SRC homeroom reps with Mr Fishman.





## Staff 10!

今月は、Etsuo Kamo先生のご紹介をしたいと思います。Kamo先生は、KISTでもっとも長く働いているスタッフの一人で、1997年、KISTが創設された際にいらっしやいました。現在は、MYPとDPの日本語の先生をしていらっしやいます。



Kamo-sensei in the classroom

### ● ご出身地について面白いことを教えてください。

生まれたのは、神戸市で18歳まで住んでいました。私の子供の頃は、バナナは高級な果物？で台湾から輸入していました。当時まだ、冷凍船というのがなく？青いバナナを収穫して台湾から運んでいたのですが、台風などで船が遅れると、保存のための氷が解けてしまい、船内で熟してしまい、腐る一步手前のようなものが道端で「タタキ売り」されていました。それを父が買ってきていたので、中学校くらいまでは、バナナは、「皮に黒い斑点のある食べ物」だと思っていました。

### ● 世界で一番好きな場所はどこですか？

やはり「神戸」と言いたいのですが、阪神淡路大震災で生まれた家や住んでいた街が焼けてしまい、今は「よその街」になってしまいました。ですから、「思い出の中の神戸」が一番好きということになります。

### ● チャンスがあったら会ってみたい人は誰ですか？その理由を教えてください。

高校のとき化学の先生。化学の時間は、いつも友人と二人で、後ろに立たされていたので、ノートもとれず、覚えるしかない授業を2年間受けました。おかげで、教科書はもちろん、先生とのQ & Aまでも覚えることができ、化学がすきになったから。

### ● 何か特別なスキルやタレントをお持ちですか？

とにかく新しいことを始めるのが好きで、写真・園芸などのいわゆる文科系から、囲碁・チェスをはじめ、登山・テニスなどもそれなりにできる(と本人は思っている)才能と、2~3年であっさりやめることができる能力。

### ● ご自身についてあまり知られていないことを教えてください。

「故郷」のところで書いたのですが、神戸出身であること。12~3年前に「国語の教員免許」を取るまでは、文学と英語が大きらいの理系人間であること、かな？

### ● あなたにとって一番の宝物は？

子供たち。...優等生の答えかも知れませんが。

### ● ご自分を言葉で表現すると？

「やるときにはやる」

### ● もう一度人生をやり直せるとしたら何か他のことをしたいですか？

高校時代の夢だった、「せめて、英語くらい話せるようになって、アフリカへ移住したい。」

### ● 自分を高めるために今やっていることは？

今までの人生で、一番「文学」を読んでいます。毎年正月には、「今年こそは、英会話を！」と誓うのですが、「松のうち」に挫折しています。

### ● ファンに一言お願いします。

勉強なんて、「やり方さえ知っていればいつでも出来るし、社会へ出て必要になれば、苦手な分野でもやるしかない」ものであるから、せめて、いまのうちは、一緒に楽しく授業を作っていきますよ。

## オフィスアップデート

### 欠席の連絡について

欠席の連絡をする時等、お子さんに関わることで学校にご連絡をとる際は、生徒のフルネーム、グレード、クラスをお伝え下さい。(例:スズキタロウ、G3B)欠席の連絡は、クラス担任ではなく、オフィスに直接連絡して下さい。

### 退学手続きと、それに伴う書類に関して

今月でKISTを退学される予定の生徒の保護者の方は、なるべく早くStudent Withdrawal Formをご提出下さい。フォームは、学校のウェブサイトから、Contact >> Formsのページからお取り下さい。教師の推薦書等、書類のリクエストがございましたら、なるべく早くRequest for Documentation Formをご提出下さい。これらのフォームは、担当教員でなくオフィスに直接ご提出頂く必要がございます。推薦書は準備に2週間程かかります。最終週にご提出されたリクエストに関しては、冬休み後のお渡しになります。

### 遅刻について

- G1-G12は8:30に教室で出欠席をとりまします。8:30までに教室に入っていないと欠席と記録されます。正門を入った時が8:30前であっても教室に8:30までに入らなければ出席とはなりませんので注意してください。正門を入った時点で8:30を過ぎている場合は遅刻となります。
- また、遅刻の場合でも一旦欠席として記録されます。遅刻の場合、欠席から遅刻への記録の変更を行わなければなりませんので、遅刻してきた場合は必ず受付にて遅刻の手続きを行ってください。手続きを変更しないと欠席のまま記録されます。
- お子さんが遅刻する場合、保護者の方が8:30までにオフィスに必ず連絡してください。通学途中での電車事故などやむを得ない場合は除きます。
- 電車の遅延による遅刻の場合、必ず清澄白河駅で遅延証明書をもらってきてください。遅延証明書がある場合は免除される遅刻と記録され、遅刻回数にはカウントされません。



## ITニュース

### Live@eduのアップデート

全ての学校のコミュニケーションを、正式にLive@eduに移してから2ヶ月がたちました。お子さんの担任教員や、KISTコミュニティの他のご家族と、より連絡をとりやすくなっていると幸いです。

多くのご家族の方に新しいシステムをご利用頂いておりますが、まだ一部のご家族の方はアカウントにログインしていないようです。

学校のコミュニティに関するご連絡は、全てKIST Live@eduのアカウントをご利用下さい。KISTのスタッフと教師は、個人のメールアドレスにはご連絡致しません。

ログイン詳細が知りたい場合、システムご利用の際アシスタントが必要な場合は、下記のメールアドレスまでご連絡下さい。

Live@eduは生徒にも導入しており、一番小さい子はG2から上はG12まで、幅広く受け入れられています。しかし往々にして、小さいお子さんはパスワードを覚えることが難しく、パスワードを覚えていないために、貴重な

授業時間が費やされています。お子さんがアカウントにログインできるよう、保護者の皆様と一緒に練習して頂けると幸いです。また、K2からG1の生徒も、Live@eduのアカウントでMoodleにログインできるよう予定しておりますが、こちらは時間がかかりそうです。保護者の皆様、お子様に、Moodleとは何か説明して頂き、またお子さんから、どうMoodleを使うのか見せてもらって下さい。また、色々な写真もフォトギャラリーにのせてありますので、それについてもお話頂けると幸いです。

### ご存知ですか？

Live@eduアカウントをお持ちのスマートフォン、タブレットで学校のメールがどこでも読めるのをご存知ですか？まだその設定をされてい方は、IT担当がお手伝いしますので、アポイントをお取りになってオフィスにお越しください。設定にかかる時間はわずか5分から10分です。

マイクロソフトによると、2011年11月時点で、Live@eduの利用者は2200万人にのぼります。



日本では、印西市と和歌山市の教育委員会が利用しており、次年度(2012-2013年)には、世界的にサービスをアップデートする一環として、名前がLive@eduからOffice 365 for Educationへと変更になります。詳細に関しましては、スクールコミュニティでお伝えする予定となっております。

昨年度、KISTでは生徒とスタッフが使えるコンピューターをほぼ倍の300台まで増やしました。また、新しい無線ランシステムによって、校内のどこでもコンピューターが使えるようになりました。

ご質問や、Live@eduに関してお手伝いが必要な方は、どうぞお気軽にご連絡下さい。

**Rob Whittaker**  
IT Software/Hardware Coordinator  
[robert.whittaker@kist.ed.jp](mailto:robert.whittaker@kist.ed.jp)

## 保健だより

保健室はオフィスの横にあり8:30-3:30利用できま

皆さん、こんにちは！今年から保健室で働くことになった、滑志田です。いよいよ冬本番の寒さとなってきました。寒くなり、体調を崩す生徒も増えてきています。風邪だけでなく、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎なども流行っていますので、普段から十分予防するようにしましょう。外出した後は、必ず手洗い、うがいをするようにして下さい。手洗いうがいは、細菌を殺す、効果的な方法です。うがいをする時は、塩水でも、真水でもかまいません。一般的には、塩水が、うがい効果的だと言われています。一回あたり、15秒~30秒うがいをして下さい。それを数回繰り返したら、完了です。

日本では、インフルエンザは空気の乾燥する12月~3月頃に流行ります。予防接種は、打ってから効果を発揮するまで1ヶ月程かかりますので、流行する1ヶ月程前(11月頃)に摂取しておくことで良いです。インフルエンザ予防接種の値段は、通常3千円~4千円かかりますが、病院によって異なるので、詳細はお近くのクリニックや病院にお問い合わせ下さい。子供の場合は、それより安いことがほとんどです。なお、予防接種は保健適応外となりますので、ご注意ください。また、13歳以下の子供は、2回予防接種を打つこととなります。

そして残念ながら、予防接種をしても、インフルエンザは100%防げるわけではありませんので、(予防接種をした後にインフルエンザにかかった場合は、症状は軽くなります)もし40度前後の高熱、筋肉痛のような症状、鼻水、疲労

感、頭痛等の症状がでたら、なるべく早く病院を受診するようにして下さい。現在あるインフルエンザの対処薬は、発症から48時間以内に内服することで、熱が下がりやすくなることがわかっています。ただ、発症直後ですと、インフルエンザの検査で陰性とでることがありますので、24時間程してから検査をうけた方が、より正確な結果が得られます。24時間後48時間以内...とても限られた時間ですが、適切に受診をして、なるべく早く治療するようにしましょう！

インフルエンザに関する詳細は、下記をご覧ください。  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/inful\\_vaccine22.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou04/inful_vaccine22.html)

また、インフルエンザにかかった場合、熱が下がった後も感染性がありますので、解熱2日後までは、学校をお休みするようにして下さい。疑問点等ございましたら、お気軽に学校までご連絡下さると幸いです。KISTでは、モジラミや水疱瘡など、感染性のある疾患にかかった生徒がいた場合、保健便りとは別にお知らせを出していますので、そちらも併せてご確認ください。

**Mari Nameshida**  
School Nurse  
[mari.nameshida@kist.ed.jp](mailto:mari.nameshida@kist.ed.jp)



Ms Nameshida



## Grade 6日光旅行

G6の生徒達は11月9日の朝早くに日光に向かいました。2時間電車に乗った後、陶器の展示会を見に行き、小さな陶器のコップに伝統的な塗料を使い色を塗りました。お昼ご飯を食べた後、輪王寺に行きガイド付きで見学をしました。質問をたくさんしながら“竜の涙”のお寺を見学しました。この建物の構造は音が特定の場所に反響するように造られており、竜の絵が泣いているように見せる事ができます。生徒達は歴史のある絵を観る事が出来、小さな記念品を持ち帰りました。

2日目も朝早く起きて、山登りに出かけました。生徒たちにとってここが一番楽しかったのではないのでしょうか。自由に走り回り探索しながら、知識豊富なガイドから環境や動植物の生息場所を学ぶことが出来ました。鹿と遭遇したり、水の循環システムがどのようにして日本に住んでいるみんなに



きれいな水が行き渡るかなども学んだりもしました。生徒達はたくさんの写真を撮りながら木々生い茂る山道を歩いたり橋を渡ったりしました。

男体山の裏をハイキングしていたのですが、これでは一日が過ぎてしまいました！歩き終わった後、日光自然博物館に



行き、四季の移り変わりを映したショートフィルムを見て、たった今まで散歩していた場所の自然環境を違った角度から勉強しました。旅の締めくくりとして、華厳の滝を3階の展望台から眺めました。生徒達は全ての食事を共にし、夜もチームビルディングをし、宝探しゲームをホテルの地下の部屋で行ったり楽しい時間を一緒に過ごしました。全ての生徒は自分の物と行動に責任を持っていました。そしてより個人的に先生と触れ合える機会を楽しんでいたように思います。3日目は日光江戸村に行き、忍者のパフォーマンス、お化け屋敷、芸者パレードを見て、雨でびしょびしょになっていました。

参加したみんなにとって素晴らしい経験となりました。

**Kara Haines**  
Secondary English-Humanities Teacher

## ニューフェイス

Welcome to Shun Nakade and Emma Hodgson.



中出 駿は、セカンダリーのアドミニアシスタントとして働く事となりました。

駿さんからの一言。「こんにちは、駿と申します。私はKISTがあるここ周辺で生まれ育ち、通っていたわけでは無いですが、学校がKISTである前の小学校の時から知っています。中学校を卒業して間もなくアメリカのオレゴン州の高校に3年間留学し、更に2年間シアトルの大学に通いました。KISTに関わる皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。」



Emma Hodgsonさんが冬休み明けから1Bのアシスタントティーチャーとして働く事になります。

Emmaさんからの一言。「こんにちは、Emmaと申します。12月に香港から東京に移る事となりました。G3の生徒をIBの学校で1年半教えてきました。KISTの生徒達に会える事、日本の文化に触れ合える事を楽しみにしています」

## ドラマフェスティバル



この秋、KISTのSecondaryの生徒はとても貴重な体験をする事が出来ました。横浜インターナショナルスクールとBST (The British School in Tokyo) 主催のKanto Plains Drama Festival (関東平野ドラマフェスティバル)に行き、生徒達は新しく友達を作ったり、プロの劇団員たちによるアクティビティーを楽しんだりする事が出来ました。両方とも最後のパフォーマンスはとても素晴らしいもので、独創的な考え方を披露してくれました。引率者としてKISTの生徒達がKIST全体を代表して参加した事を誇りに思います。全ての参加者におめでとう！

**Marina Babaeva**  
DP/MYP Music Teacher



# クロスカントリーニュース

## 堂々のレース

クロスカントリーへ向けて、生徒達は、校内そして校外でも練習を重ねてきました。体力、コンディションづくり、と体育担当教員の指導のもと各学年、トレーニングや健康について実技のみならず理論も含んだ様々な角度から学んでいます。日々積み重ねてきた内容が、ISTAAクロスカントリーでの結果につながったように感じています。

11月18日、荒川河川敷で全校クロスカントリーが開催されました。ISTAAチャンピオンシップへの参加を目指しレースに挑戦する生徒達の姿もありました。11月25日のISTAAクロスカントリーには各学年の上位、合計70名を超える生徒が参加し、素晴らしい成績を収めました。多くの生徒が上位のタイムでレースを終え、メダルを獲得しましたとともに、参加校のうち合計得点の最も高いトップチームとしてトロフィーを受け取りました。次点の学校と800ポイント近い差を

### KIST全校クロスカントリー

#### Grade 1 男子:

Keanu (G1A)  
Yudai (G1A)  
Harunosuke (G1A)

#### Grade 2 男子:

Kaiser (G2B)  
Kishore (G2A)  
Ross (G2B)

#### Grade 3 男子:

Samuel (G3B)  
Deniz (G3A)  
Hee Sung (G3A)

#### Grade 4 男子:

Salim (G4A)  
Kenzo (G4B)  
Nimit (G4A)

#### Grade 5 男子:

Keina (G5B)  
Shin (G5B)  
Keigo (G5A)

#### Grade 6 男子:

Hikaru (G6A)  
Taisei (G6A)  
Hee Yong (G6B)

#### Grade 7 男子:

Hee-Jun (G7B)  
Haruto (G7B)  
Akira (G7A)

#### Grade 8 男子:

Tyson (G8A)  
Rei (G8B)  
Jisang (G8B)  
Motoi (G8B)

#### Grade 9 男子:

Salam (G9B)  
Maung Wai (G9B)  
Roshana (G9A)

#### Grade 1 女子:

Tomoko (G1A)  
Tia (G1A)  
Sara (G1A)

#### Grade 2 女子:

Rina (G2A)  
Minagi (G2A)  
Zoe (G2A)

#### Grade 3 女子:

Saki (G3B)  
Maki (G3A)  
Aisha (G3B)

#### Grade 4 女子:

Emily (G4B)  
Reina (G4B)  
Sara (G4B)

#### Grade 5 女子:

Hina (G5B)  
Ruiran (G5A)  
Asami (G5B)  
Emiri (G5A)

#### Grade 6 女子:

Riko (G6B)  
Yi-Ting (G6A)  
Hana (G6A)

#### Grade 7 女子:

Moana (G7B)  
Kotone (G7A)  
Eimi (G7B)

#### Grade 8 女子:

Nino (G8A)  
Ayaka (G8B)  
Angela (G8A)

#### Grade 9 女子:

Rina (G9B)  
Rei (G9A)  
Jamie (G9A)  
Tamami (G9A)  
Keerti (G9A)

#### Grade 10 男子:

Adam (G10B)  
Sashank (G10A)  
Abhinav (G10B)

#### Grade 11 男子:

Alakhsa (G11B)  
Ashutosh (G11A)  
Jae Hyoung (G11C)

#### Grade 12 男子:

Eric (G12)  
Ryosuke (G12)  
Cameron (G12)

#### Grade 10 女子:

Akiko (G10A)  
Miku (G10B)  
Moyu (G10B)

#### Grade 11 女子:

Monica (G11C)  
Marie (G11C)  
Sara (G11C)

#### Grade 12 女子:

Ewa (G12)  
Na Yeong (G12)  
Sung Hye (G12)

### ISTAAクロスカントリー

#### Grade 1:

男子  
銅: Keanu (G1A)

女子  
銅: Tomoko (G1A)

#### Grade 2:

男子  
銀: Kaiser (G2B)

#### Grade 3:

男子  
銅: Deniz (G3A)

#### Grade 4:

女子  
金: Saki (G3B)  
銀: Maki (G3B)

#### Grade 4:

女子  
金: Emily (G4B)  
銅: Reina (G4B)

#### Grade 5:

女子  
Silver: Hina (G5B)

#### Grade 6:

男子  
金: Hikaru (G6A)  
銀: Hee Yong (G6B)

#### 女子

銀: Riko (G6B)  
銅: Yi-Ting (G6A)

#### Grade 7:

男子  
金: Hee-Jun (G7B)  
銀: Haruto (G7B)

#### Grade 8:

女子  
金: Moana (G7B)  
銅: Kotone (G7A)

#### Grade 8:

男子  
金: Tyson (G8A)  
銅: Rei (G8B)

#### Girls

金: Nino (G8A)  
銅: Ayaka (G8B)

#### Grade 9:

男子  
金: Salam (G9B)  
銅: Roshana (G9A)

#### 女子

銅: Keerti (G9A)



つけ、総合15,000ポイントでした。

全校、そしてISTAAクロスカントリーに参加した全生徒の挑戦に敬意を表し、また子ども達を支えてくださった方々に心から感謝申し上げます。ご協力いただきましたparent volunteerの皆様、本当にありがとうございました。皆様のお力がありましてこそ、2つの大会を無事に終えることができました。



Jay Leroy, Chee Lee, Akihiko  
Nogami  
PE Teachers



#### Grade 10:

男子  
金: Adam (G10B)

#### 女子

銅: Akiko (G10A)

#### Grade 11:

女子  
金: Monica (G11C)  
銀: Marie (G11C)  
銅: Sara (G11C)

#### 女子

銅: Sara (G11C)

#### Grade 9:

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

#### 男子

#### 女子

参加校: KIST, The British School in Tokyo, Canadian IS, Columbia IS, International Secondary School, KAIS IS, The Montessori School of Tokyo, Nishimachi IS, Tokyo IS





## カレッジガイダンスニュース

アメリカ、イギリス、日本などの大学出願締切日が近づいてきました。カレッジガイダンスオフィスは、12年生の出願の最終段階に入り出願フォームやエッセイのチェック、各教員にIB予想点を出してもらったり、推薦状を頼んだり、過去3年から4年間の成績表など学校からの書類を送ったり大変忙しくなっています。書類申請フォームや推薦状のサインを求めて生徒や先生を追い回しているMrs奥出をみかけることがあるかもしれません。

### 大学情報

KIST卒業後の進路について決定するのは生徒にとっても保護者にとっても最も難しいことだと思います。情報がありすぎる、または少なすぎる？そんな皆さんのために、カレッジガイダンスオフィスがあります。将来のキャリアや大学の選択肢について調べたり考えたりするスタートポイントです。ぜひ、お気軽にオフィスにお立ち寄りください。

Mrs 奥出のオフィスパワーは：月曜日から金曜日(ただし水曜日を除く)10時から5時です。

お昼休みや放課後に大学のカタログを見にくるだけでもOKです。それ以外にも、いろいろな方法で大学について知るチャンスはたくさんあります。例えば、KISTで行われる大学説明会に出席する、大学フェアに出かける、大学キャンパスに実際に行ってみる、大学生や卒業生と話をするなどです。ここでは、今年KISTで行われたイベントのいくつかをご紹介します。

### 明治学院大学特別見学会



明治学院大学のご厚意により、秋休み中にKIST生徒のためだけの特別見学会が行われました。12年生と11年生の6人の生徒が10月17日に戸塚キャンパスを訪れました。参加

した生徒は国際学部国際キャリア学科の教授にお会いして、4年間英語で学べるこの学科について直接お話を伺うことができました。大学の模擬授業も行われ、生徒たちは実際の授業と同じ形で授業を体験することができました。模擬授業はWatson教授による比較文化の視点に立った世界の翻訳文学マーケットについての講義でした。生徒たちはとても積極的にディスカッションに加わっていました。模擬授業の後は、Vesey教授のご案内による、キャンパスツ



アーでした。素晴らしいキャンパスのウォーキングツアーを楽しみました。

### KISTでの大学説明会

今年は9月から11月にかけて、すでに30校近くの大学がKISTを訪問しています。KISTでの説明会の最大のメリットは学校内で大学の代表者に直接会い、情報を得ることができることです。大学を代表して学校に来てくださる方は主にアドミッションオフィスの方ですが、時にはその学部で教鞭をとられている教授の場合もあります。10月27日には、京都の同志社大学からSteel教授がお越しになり、英語でリベラルアーツを学ぶ新しいプログラムについてプレゼンをしてくださいました。



### 同窓生トーク

メールや写真、レターなどで卒業生が世界のどこかで彼らの生活を楽しんでいることを知るのには私たちにとってこの上ない喜びです。特に彼らが学校を訪ねてきてくれるのは格別



です。卒業生が学校に来て、在校生に自分の卒業後の体験について話してくれたりするのはいつでも大歓迎です。12月9日、2011年卒業のPPOが11年生にトークセッションをしてくれました。在籍しているシカゴ大学での学生生活について話したり、DPIについてのためになるアドバイスをしてくれました。

KISTでは、現在同窓生のデータベースを作成中です。さらに交流が広がることでしょう。

### IBについての日本語の本

IBについて日本語で知りたいのですが、というお問い合わせをよくいただきます。「国際バカロレア 世界が認める卓越した教育プログラム」(相良憲昭・岩崎久美子編著 2007)は日本語で書かれた数少ない本です。この本は文部科学省が行った学術調査の研究報告書がベースになっています。著者の一人である国立教育政策研究所の岩崎さんは、その後KISTの大ファンになられ、最後の東北支援旅行にボランティアとして参加してくださいました。この本は、KIST ライブラリーメディアセンターで借りることができます。

### Mrs奥出桂子

College Guidance Counselor  
keiko.okude@kist.ed.jp





KISTival 2011  
Thanks for the  
memories!